

岩永嘉弘 × 飯田朝子

先見性があり、長く愛されるネーミングとは

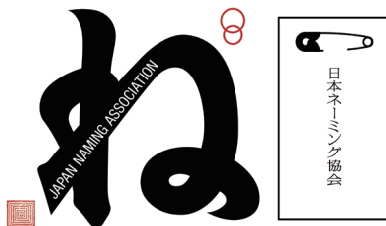
東京オリンピックに向けてさまざまな名称を決める最終段階に入った今、あらためて「50年後も残る名前」とは何かを考える。

「ネーミングの第一人者」である岩永嘉弘氏がこれまで手がけたネーミングを中心に、時代の一步先を見据えた名称を解説。

東京スカイツリー名称検討委員であった飯田朝子氏の公募における名称選定事例も示しながら分析する。

講演の後半ではネーミングのワークショップを実施。柔軟で新鮮な発想を磨く実践を行う。

9月19日(木)
六本木



講師



コピーライター・ネーミングクリエイター
いわなが よしひろ
岩永 嘉弘

日本ネーミング協会 会長 (ロックスカンパニー 主筆)

コピーライター・ネーミングクリエイター。「ネーミング」の第一人者。代表的なネーミングに、越中ふんどし『JAPANTS(ジャパント)』、日立洗濯機『からまん棒』、『新宿MY CITY』、『東急Bunkamura』、東急ホテル『セルリアンタワー』、『渋谷MARKCITY(マークシティ)』、『大手町HOTORIA(ホトリア)』、航空会社『SOLASEED AIR(ソラシド・エア)』、『日清oillio(オイリオ)』、『新生銀行』、ホンダ『FIT、MOBIRIO、INSIGHT』、大塚製薬『UL・OS(ウル・オス)』、東武鉄道『SPACIA』、日本航空『JAL悟空』、雑誌『Saita』、『STORY』、駅弁『元気甲斐』他多数。主な著書に、『最強のネーミング』(日本実業出版社)『ネーミング全史』(日本経済新聞出版社)『全てはネーミング』(光文社)『ネーミングの成功法則』(PHP)等。



言語学者
いいた あさこ
飯田 朝子

日本ネーミング協会 理事 (中央大学国際経営学部教授)

日本語や英語の語彙の意味記述および広告表現を中心に研究。博士(文学)取得。中央大学では「ネーミングとキャッチコピーのゼミ」を長年開講。2008年、東京スカイツリー名称検討委員。2015-2017年、米国UCLA客員研究員。主著に『数え方の辞典』『アイドルのウエストはなぜ58cmなのか』(共に小学館)『「あ、これ欲しい!」と思わせる 広告コピーのこぼれ辞典』(日経BP社)『ネーミングがモノを言う』(中央大学出版部)など。コピーライターとしても活動し、第53回から4年連続で宣伝会議賞協賛企業賞を受賞。

セミナー概要

会場	東京ミッドタウンホール&カンファレンス(Room7)
主催	一般社団法人 日本ネーミング協会
日程	2019年9月19日(木)
時間	13:30~16:30
定員	100名
対象	商品企画開発/マーケティング/ ネーミング開発に関わる方 他
受講料	当協会会員: 4,000円(税込) /1名様 一般: 12,000円(税込) /1名様

プログラム

13:30-13:40	岩永会長ご挨拶
13:40-14:30	「ネーミングに必要な『唯一性』 名前を公募する際の注意点」講師: 飯田朝子
14:30-15:20	「時代とネーミング論考」講師: 岩永嘉弘
15:20-15:30	休憩
15:30-16:15	ワークショップ
16:15-16:30	講評・まとめ

※ 内容が変更することがございます。

アクセス

〒106-6149 東京都港区赤坂9丁目7番2号 東京ミッドタウン4F
<https://www.tokyo-midtown.com/jp/access/public-transport/>